

R4年度 四国中央市指定管理業務 事業評価表

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市土居総合体育館等		
施設所管課	教育委員会教育管理部	文化・スポーツ振興課	
指定管理者名	コナミスポーツ・四国ダイケングループ 代表企業:株式会社コナミスポーツクラブ		
指定期間	R4年 4月 1日 ~ R9年 3月 31日		
	1年目		

2. 評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	A	A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
	《①の総括》		B	B
指定管理者の自己評価	空調機工事に伴う臨時休館の対応等、四国中央市と連携を密にし対応を致しました。			
施設所管課の評価	市の設備更新工事に伴う臨時休館の要請に協力いただき、計画通り施工することができた。コロナ対策をはじめ国の法令及びガイドライン等に即した、安全な管理運営に努めた。市への連絡・報告等について、適切な対応が行われている。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
② サ ー ビ ス の 質 の 評 価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	地域住民等との連携	地域や地域住民との連携を深め、協働による事業展開がされている	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	管理目標	設定目標に対する結果は妥当である。	B	B
		設定目標に対する取組は適切である。	B	B
《②の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	利用者アンケートにより施設の強みを理解し、運営に活かすサイクルが稼働しております。			
施設所管課の評価	利用者モニタリング結果において、特にスタッフ対応と施設の清潔な管理が高評価を得ており評価できる一方、プログラム・教室に対する要望や期待が多いため、今後前向きに検討していただきたい。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の自己評価	昨年と同様にコロナ禍での運営は大変厳しい状況を迎えましたが、貴市より臨時休館に伴う営業補償・光熱費の単価増加分(半額相当)を指定管理料にて増額を受領し、企業としての役割を果たせる事となりました。		
	施設所管課の評価	コロナ禍による会員数減少や光熱費高騰など、収支のマイナス要因が増加する中で、利用者サービスを縮小することなく管理運営が行われており、経営努力が伺える。		
総合評価	①②③を合わせた総合評価	B	B	
所見（成果・課題等）	<p>今年度は、昨年に続き新型コロナウイルス感染による大幅な在籍者数の減、利用者人数の減と大変大きな影響を受けました。来期は新型コロナウイルスが5類相当に引き下げになることから施設運営の完全再開に向け取り組んで参ります。</p> <p>コロナ禍において安全な管理運営を行い、地域住民の交流・健康増進拠点としての重要な役割を果たしている。人員確保や施設の維持修繕等の課題があるが、コロナ禍で減少した会員数の回復に向けて、教室やイベントなどの充実を図り、地域住民の健康増進と交流促進における拠点施設としての役割を果たしていただきたい。</p>			

各項目の評価基準

区分	項目評価	基準
評価基準	A（優良）	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ：110%以上
	B（良好）	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ：90%以上～110%未満
	C（一部良好でない）	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ：70%以上～90%未満
	D（良好でない）	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ：70%未満
総括	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C（一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている
総合評価	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C（一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている